川口市立医療センター広報紙

はな　みず　き

花水木

2023
秋号
Vol.62

特集

前立腺がんの治療

手術支援ロボット導入

川口市立医療センター
イメージキャラクター　「みみたーズ」
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

前立腺がんの治療

泌尿器科　部長
一瀬　岳人

前立腺がんに関連する3つのニュース

皆様は、前立腺がんが近年、日本において急速に増加してきており、2015年から男性のがんの中で、罹患率が第1位になっていることをご存知でしょうか。急速な高齢化や脂肪を多く摂取する食生活への変化などが誘因と言われています。当院の泌尿器科でも、毎日多くの前立腺がん患者さんの診断や治療を行っています。

その前立腺がんに関連して、皆様にお知らせしたいニュースが3つあります。

■1つ目のニュース

今年6月から川口市でついに前立腺がん検診が始まったことです。私が当院に赴任してから常に感じていたのは、発見時にすでに転移のある前立腺がん症例が多いということでした。以前の調査で、当院で新たに前立腺がんと診断した症例の2割以上にすでに転移がみられました。転移がある前立腺がんの5年生存率は約60%と高く、他のがんに比べてゆっくり進行します。しかし、がんが根治する可能性は低く、長期間に渡って治療が必要です。

そのことから、川口市に前立腺がん検診の導入が必要だと考えていました。

前立腺がん検診は、日本において80%以上の地方自治体で実施されており、検診の導入により、転移を有する症例の割合が減少した結果が報告されています。また、ヨーロッパで行われた大規模比較試験で、検診により前立腺がん死亡率が低下する有効性が示されています。

このことから、川口市の前立腺がん検診も皆様に有益な結果をもたらすことは間違いありません。この検診は、通常の住民健診の際に、一緒に採血することで検診を受けることができます。是非、川口市在住の男性で対象年齢の方は前立腺がん検診を受診してください。

■2つ目のニュース

当院に今年3月から新しい高精度放射線治療器が導入されたことです。

前立腺がんの根治的治療の1つに放射線療法があります。前立腺に放射線を照射することでがん細胞にダメージを与える治療です。この治療の合併症として、前立腺に隣接する膀胱や直腸粘膜からの出血があります。合併症を防ぐために、前立腺がんの照射は一般的に何回にも分割して照射を行います。

新しく導入された高精度放射線治療器では、毎回、照射のたびに前立腺の位置を正確に確認して多方向から照射を行っています。このことでより正確に前立腺に照射が行えるようになりました。その結果、機器導入前は前立腺への照射は36～38回の分割照射を必要としましたが、導入後には20回の分割照射となり治療期間がかなり短縮されました。また、治療期間中に頻尿や排尿困難などの症状が起こることが多かったのですが、新しい治療器になってから、排尿状態が変わらない症例が多くなっています。治療を受ける患者さんにとって生活上大きなメリットと考えます。放射線科治療チームの協力のもと質の高い放射線治療を提供できる環境にあります。

■3つ目のニュース

当院で今年9月から手術支援ロボットを用いた前立腺がんの手術を導入することです。

前立腺がんの根治的治療の1つに手術療法があります。前立腺・精嚢を摘除し、膀胱と尿道を吻合する手術です。今まで当院では、前立腺がんの手術を開腹手術により行ってきましたが、その手術に手術支援ロボットを導入することが決定いたしました。この手術では拡大視野で関節のあるロボットアームを用いて精密で正確な操作ができるので、小さい手術創でより出血の少ない低侵襲な手術が可能となります。

まずは、前立腺がんに対してロボット支援手術を行い、その後腎臓の手術にも取り組んでまいります。この手術支援ロボットを用いてより質の高い医療を地域の皆様に提供できるものと考えています。

今後消化器外科においても手術支援ロボットによる手術を実施する予定です。

認定看護師の一日

感染管理認定看護師

佐々木　知子

8:00	出勤
8:10	朝会議出席
8:25	看護部朝礼
8:30	報告事例の確認 感染関連データ入力 各部門への連絡・調整 コンサルテーションに対する返答 部署ラウンド
12:00	昼食
13:00	サーベイランスデータ入力、症例判定、分析 各種資料の作成
16:00	会議・カンファレンス等
17:15	業務日誌記載

勤務終了

医療の質・安全管理センターに所属し、医療関連感染の予防・対策の推進に携わっています。

病院内では、多職種の方々と協働し日常的な管理やシステムの構築をすることがメインとなります。特異的な感染症への対応時には、保健所や行政との連絡窓口の役割を担っています。

また、地域の施設等に出向き感染予防対策のレクチャーも行っています。病院に関わるすべての人を感染から守り、安全な医療環境を提供できるよう、日々活動しています。

入院患者さんから
好評のメニューを
紹介します

健康レシピ

冷やし担々うどん

材料 1人前

- (冷凍)うどん 180g

肉味噌

- 鶏挽肉 50g
- 長葱 30g
- たけのこ水煮 20g
- ごま油 2g
- A
  - 醤油 3g
  - 甜面醤(テンメンジャン) 3g
  - 上白糖 1g
  - ブラックペッパー適量

トッピング

- 水菜 15g(適量)
- 胡瓜 10g(適量)
- トマト 45g(適量)
- 糸切り唐辛子(適量)

つけ汁

- 担々麺スープ(市販) 15g
- 豆乳 20g
- 白ねりごま 12g
- 水 60g

作り方

①長葱、たけのこはみじん切りにカットする。
②フライパンにごま油をひき、鶏挽肉を炒め、火が通ったら、長葱、たけのこを加え、さらに炒める。
③②にAを加え、水分がなくなるまで、炒め合わせる。
④うどんを熱湯に入れ、ほぐしゆでる(解凍)する。茹で上がったら、冷水で冷まし、水切りし、どんぶりに盛る。
⑤トッピング用の野菜をお好きな大きさにカットし、うどんの上に盛り付ける。
⑥つけ汁の材料を混ぜ合わせ、冷蔵庫で冷やす。
※糸切り唐辛子はお好みで。

【栄養価】
エネルギー:423kcal
蛋白質:24.3g
脂　質:14.1g
塩　分:2.9g

POINT!

＊肉味噌にたけのこを加えることで食感が良くなります。
＊担々麺スープの辛味を豆乳がマイルドにし、ねりごまでコクが出ます。
＊うどんだけでなく、麺をラーメンにし、スープを温かくすることで、担々麺として召し上がることもできます。

川口市立医療センターからのお知らせ

入院患者様向け
無線LAN(フリーWi-Fi)
サービスを開始しました。

場 所:病棟3階から7階まで
時 間:午前6時から午後9時30分まで

Wi-Fi

メッセージボックス
～みなさまからのご意見箱～

お寄せいただいた感謝の声、
ご意見等を抜粋して掲載いたします。
（主旨を変えず、一部加工し掲載しています。）

患者さんからのご要望

10時に予約してきましたが、終わったのは14時30分頃でした。番号順に表示されているのに順番が抜かれている。待っている間何の説明もない。待っている方の身にもなってほしいと思いました。改善して下さい!!

（病院からの回答）

ご意見ありがとうございます。待ち時間についてご負担と不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。患者さんの立場に立ち診療までお時間を要する場合は説明や声かけをしていくよう指導致しました。お待たせしない仕組みを検討してまいります。

患者さんからのご要望

トイレにファイル置き場を設置してほしい。

（病院からの回答）

ご意見ありがとうございます。患者さんが使用されるトイレについては、設置可能な場所について調査し、追加設置可能箇所については、設置いたします。

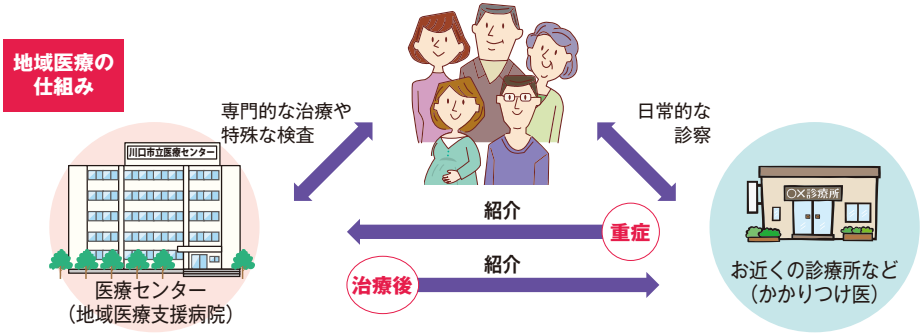
患者さんからの感謝の声

NICUの皆様へ
この度は赤ちゃんの命を救って下さり本当にありがとうございました。迅速に駆けつけて頂いたお陰で無事に育っているとの事、本当にありがとうございます。
そして毎日のチームルーム（動画配信）の更新もありがとうございます。毎日楽しみにしております。可愛がってケアして頂いているのが伝わり有難い気持ちでいっぱいです。

（病院からの回答）

メッセージカードのご投函ありがとうございます。該当部署にお伝えしました。

地域医療の仕組み



バス案内（国際興業バス）

川口駅東口（8番）発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口（1番）発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行

西川口駅東口（1番）発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行

赤羽駅東口（6番）発
新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス（川口市コミュニティバス）

みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金　4時間まで200円（その後1時間ごとに100円）
総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。
（1,000円券・3,000円券）
駐車台数　約600台収容

ホームページ

発行責任者　川口市立医療センター　大塚 正彦
編　　集　広報委員会
〒333-0833　川口市西新井宿180　TEL 048-287-2525（代表）